

高校生がリップクリームを作った

~谷井 壱成・丸尾 美波・坂本 桃花~

目的

- 地元の素材を活かしたオリジナル化粧品を形にする
- 地元の素材でも本当に化粧品として活用できるのかを検証する
- 企業からのアドバイスより地域産業と若者をつなぐきっかけを作り地域を活性化
- 材料からより良いものを完成させる



背景

- 地元・但馬の魅力を活かした商品開発で地域を盛り上げたい
- 若者の化粧品への関心が高まっており、SNS で情報発信しやすい
- 地元素材を使うことで、地域経済の循環を作れる

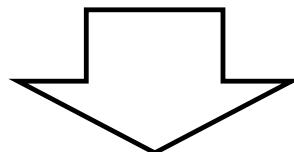
ブルーベリーを選んだ理由

- 但馬で生産が盛んで入手しやすい
- 抗酸化作用など美容効果が期待され、化粧品との相性が良い
- 色味・香りが化粧品（特にリップ）と相性がよく、商品として魅力的
- 地元産の特色を出しやすくストーリー性を作りやすい

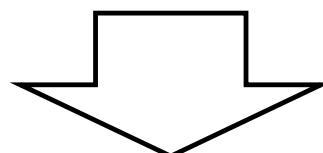


主な実験内容

前回：ブルーベリー活用の構想



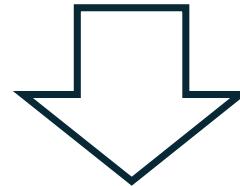
今回：実験スタート！



材料：ミツロウ・シアバター・はちみつ・ビタミンE

計画

抽出：ブルーベリー+アルコール 1週間



試作方法：湯煎・混合・固化

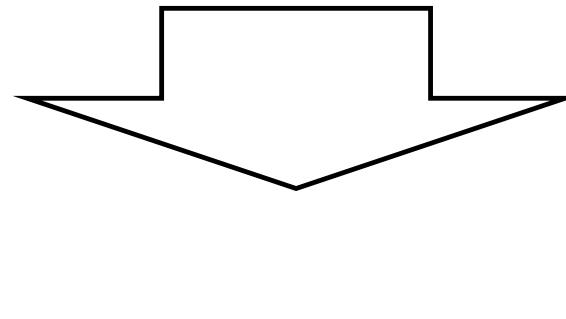
試作 1・試作 2・試作 3・試作 4 を実験

材料ごとの特徴を比較

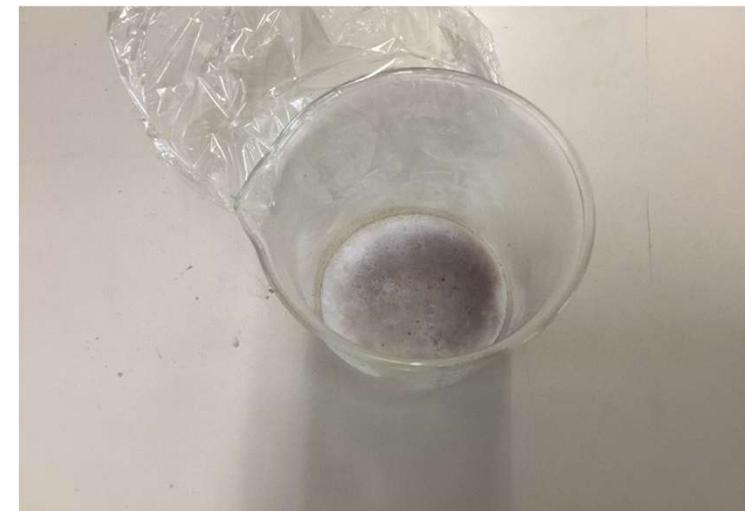


自分たちで材料を集めて試作 1

硬化中



硬化後



材料

ココナッツオイル
ブルーベリー抽出液
ホホバオイル

結果・反省点

- 結果
- 材料が足りてなくてちゃんと固まらなかった
- 反省点
- 材料が足りなかった
- ココナッツオイルが多くてブルーベリーが感じられなかった

協力企業：株式会社ピカソ美化学研究所



場所
大阪府大阪市淀川区
西宮原1丁目8番35号



化粧品の研究・開発を行う企業。
天然素材を活かした処方に強み
ブルーベリーリップ開発に技術協力
材料の相性、抽出、安定性などを助言

試作 2



抽出後→

材料

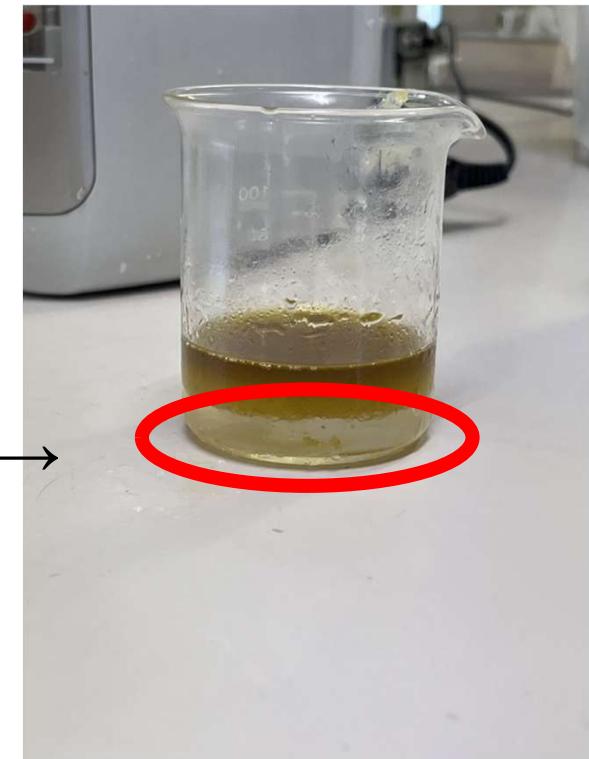
ココナッツオイル
ブルーベリー抽出液
ミツロウ
ビタミンE



試作 2



分離してしまった→



結果・反省点

- **結果**

協力企業：化粧品会社
「株式会社ピカソ美科学研究所」

固めることはできた

- **反省点**

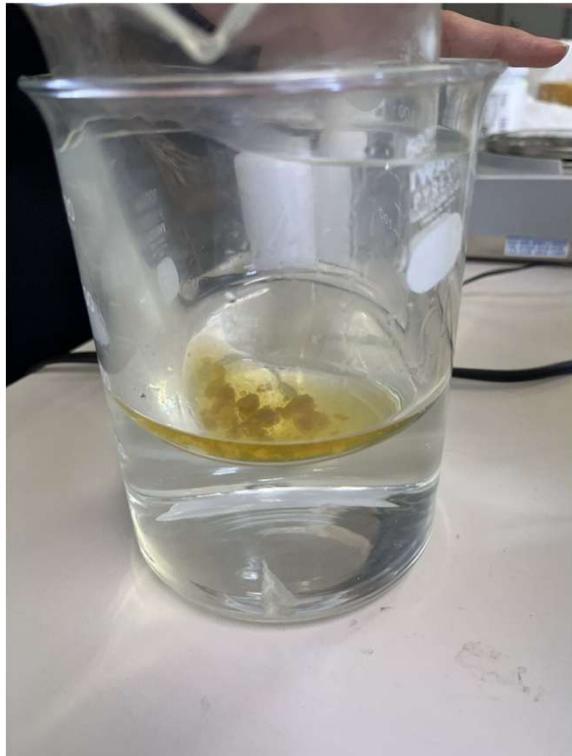
ミツロウが多すぎてブルーベリーの色が出なかった

- **改善点**

ミツロウを減らす、着色料をいれる

試作 3

↓ 着色料追加



材料

ココナッツオイル
ビタミンE
ブルーベリー抽出液
はちみつ
シアバター



試作 3



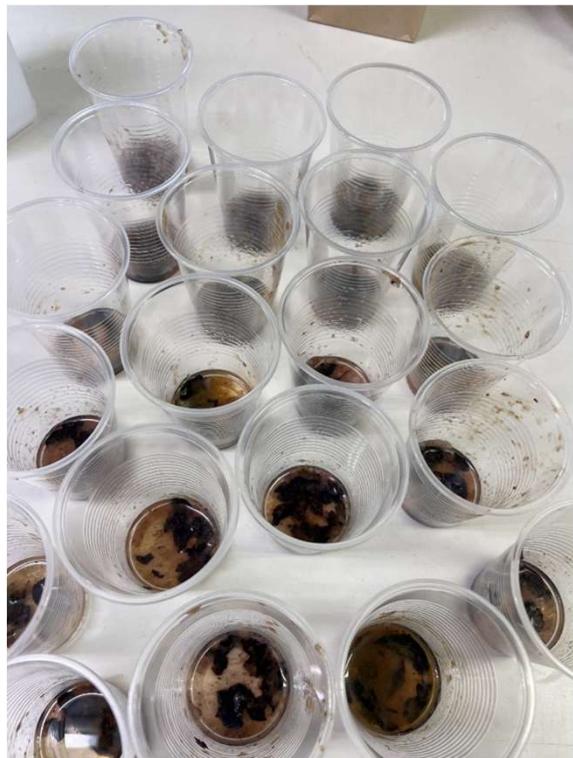
着色料の色が
濃くなつた→



結果・反省点

- 結果
 - リップとして硬さはよかったです
- 反省点
 - 色持ちがよくなかった
 - 色が悪すぎて使いたいとは思わない色だった
 - 効率が悪い

試作 4

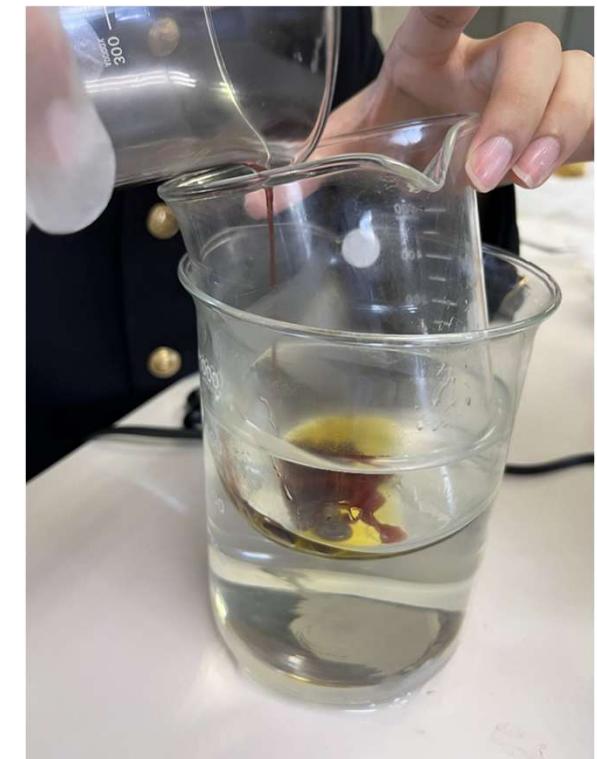


材料

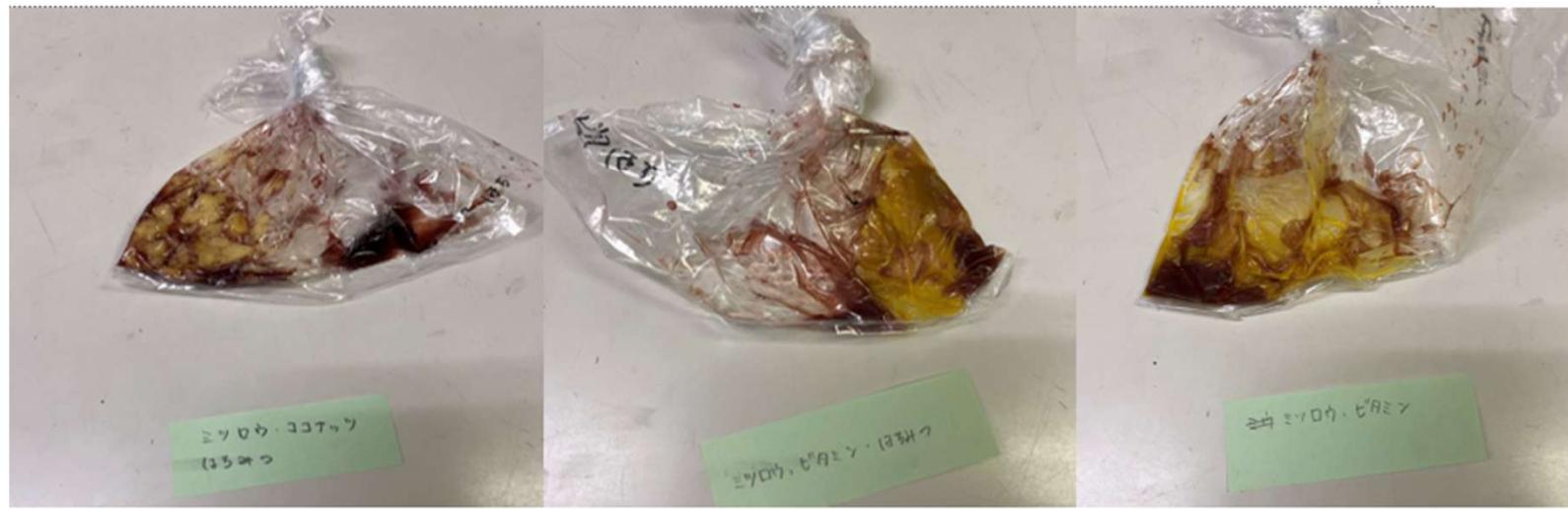
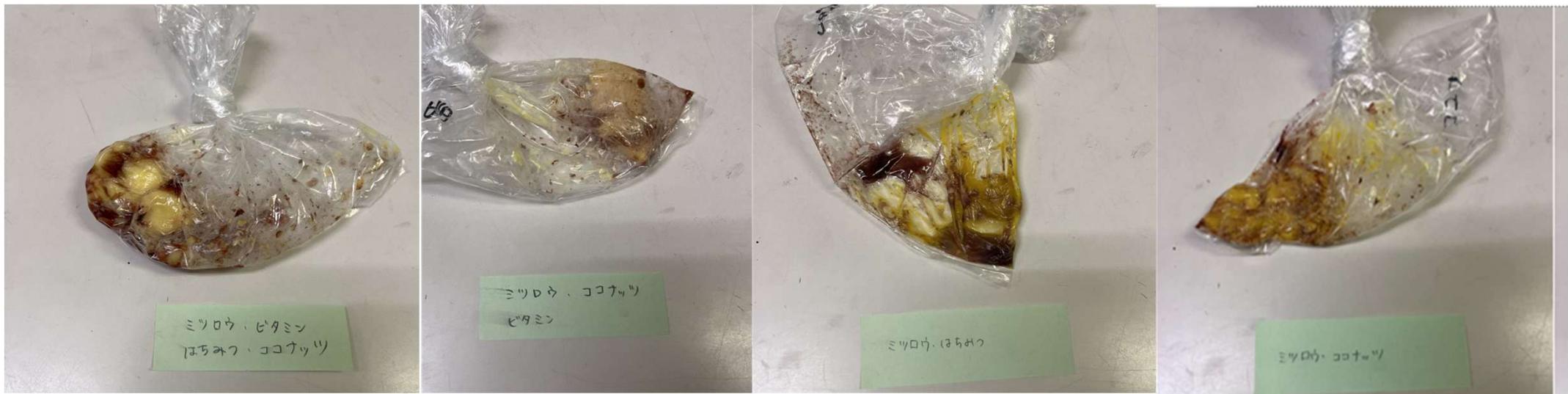
ココナッツオイル
ビタミンE
ブルーベリー抽出液
はちみつ
シアバター

方法

プラコップ・ナイロン
袋で同時に複製試作



試作4（ミツロウベース）



試作4（シアバターベース）



結果

- ・ ミツロウを入れると固まりやすく、形は安定するが硬すぎる
- ・ はちみつやココナッツオイルを加えると柔らかく伸びが良い
- ・ ビタミンEを入れるとやや固くなり、保存性が上がる
- ・ シアバターは色がよく、伸びもよいが分離しやすい



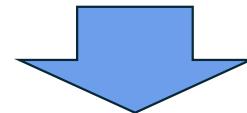
- | | |
|------------|---------------------|
| ■ ミツロウ→固める | ■ ココナッツオイル→伸び |
| ■ シアバター→保湿 | ■ ビタミンE→酸化防止 |
| ■ はちみつ→ツヤ | ■ ブルーベリー→地元素材の色・抗酸化 |

課題

分離・香り・色が課題



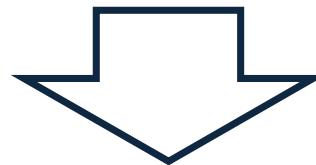
材料の性質を把握



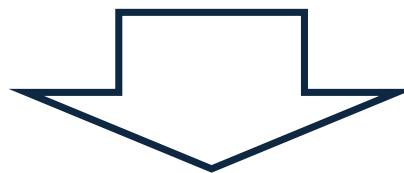
ミツロウ・シアバター改良実験

展望

リップとしての形作り
抽出方法の工夫



後輩への引継ぎ



地域イベントでの発信
⇒地域の人に知ってもらえる可能性↑

最後にまとめ

- 試行錯誤＝大きな学び
- 地元素材で「美」を形に
- 夢は「商品化」

↓完成図

